



2019年度 感染症実用化事業 合同公募説明会

国立研究開発法人日本医療研究開発機構
戦略推進部 感染症研究課
2018年11月6日(火)



3事業※共通内容説明

※肝炎等克服実用化研究事業、エイズ対策実用化研究事業、
新興・再興感染症に対する革新的医薬品等研究開発推進事業

公募開始～研究開始までのスケジュール



提案書類受付期間	2018年11月1日(木)～ 12月3日(月)正午 (注1)	
書面審査	2018年12月中旬～2019年1月中旬(予定)	
面接(ヒアリング) ^(注2)	エイズ	2019年2月2日(土)～2月3日(日)(予定)
	新興・再興	2019年2月6日(水)～2月7日(木)(予定)
	肝炎	2019年2月14日(木)～2月15日(金)(予定)
採択可否の通知	2019年2月下旬(予定) ^(注3)	
研究開発計画書等提出	2019年2月下旬～3月上旬(予定)	
研究開発開始(契約締結等)	2019年4月1日(月)(予定)	

(注1) : **e-Rad 登録**×切

(注2) : ヒアリングを実施する場合は、対象課題の研究開発代表者に対して、原則としてヒアリングの1週間前(2019年2月1日頃)までに電子メールにてご連絡します。

(注3) : 採択課題候補となった課題の研究開発代表者に対しては、審査結果等を踏まえた目標や実施計画、実施体制等の修正を求めることや、研究開発費合計額の変更を伴う採択条件を付すことがあります。

提案書類等の提出に関する注意点



- 提案書類の提出はe-Radで行います。
 - ・ 提出期限内にe-Radによる提出が完了していない場合には、応募を受理しません。
 - ・ 「研究開発代表者」がe-Radに申請を行った時点では、AMEDへの申請は完了していません。必ず所属機関の承認手続きを行ってください。
 - ・ e-Radの操作方法に関するお問合せには事業担当課は対応できません。e-Radポータルサイトヘルプデスクにお問い合わせください (公募要領 X.照会先)。

Tel: 0570-066-877 (ナビダイヤル)
利用できない場合は03-6631-0622 (直通)
受付時間 9:00~18:00 (平日)

(様式1) 研究開発提案書：3ページ



各年度別経費内訳

(単位：円)

大項目	中項目	2019年度	2020年度	2021年度	年度	年度	計
直接経費	1. 物品費	設備備品費	XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	/	XX, XXX, XXX
		消耗品費	XXX, XXX	XXX, XXX	XXX, XXX	/	XXX, XXX
	2. 旅費	旅費	X, XXX, XXX	X, XXX, XXX	X, XXX, XXX	/	X, XXX, XXX
		人件費・謝金	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	/	XX, XXX
	3. 人件費・謝金	人件費	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	/	XX, XXX
		謝金	XXX, XXX	XXX, XXX	XXX, XXX	/	XXX, XXX
	4. その他	外注費	XXX, XXX	XXX, XXX	XXX, XXX	/	XXX, XXX
		その他	XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	/	XX, XXX, XXX
小計		XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	/	XX, XXX, XXX	
間接経費 (直接経費の30%目安)		XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	/	XX, XXX, XXX	
合計		XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	XX, XXX, XXX	/	XXX, XXX, XXX	

**各年度 直接経費合計が
研究費の規模上限を超えない！**

*「研究費の規模：1課題あたり年間
5,000～10,000千円」
の課題の場合⇒10,000千円

<注意>・若手研究者登用費はここには含めないでください。

**各年度合計は、
直接経費＋間接経費！
研究費の規模上限を超える!!**

**間接経費
直接経費の30%まで！**

*直接経費を10,000千円とした場合、
3,000千円)

公募における「研究開発提案書」の記載上の注意



研究開発提案書以外に必要な書類	⑩ PMDA の事前面談・対面助言の記録等 ※必要に応じて ⑪ 臨床試験に関する資料等 ※必要に応じて ⑫ 動物実験に関する自己点検・評価結果 ※必要に応じて ⑬ <u>研究開発にかかるマネジメントに関する資料等</u> ※対象となる公募領域は必須
-----------------	---

① 医薬品開発の研究マネジメント

- 将来的に企業に導出することで医薬品としての実用化(製造販売承認)を目指す開発課題を応募する提案者
- 既に創薬標的の検証(ターゲットバリデーション)が終了しており、ステージゲート①以降の段階にある提案者

⇒両方に該当する場合は、「チェック項目記入表」の提出が**必須**

② 再生医療研究事業(研究開発課題)のマネジメント

- 多能性幹細胞、体性幹細胞又は遺伝子改変細胞を用いた再生医療等の実用化にかかる研究開発課題を対象

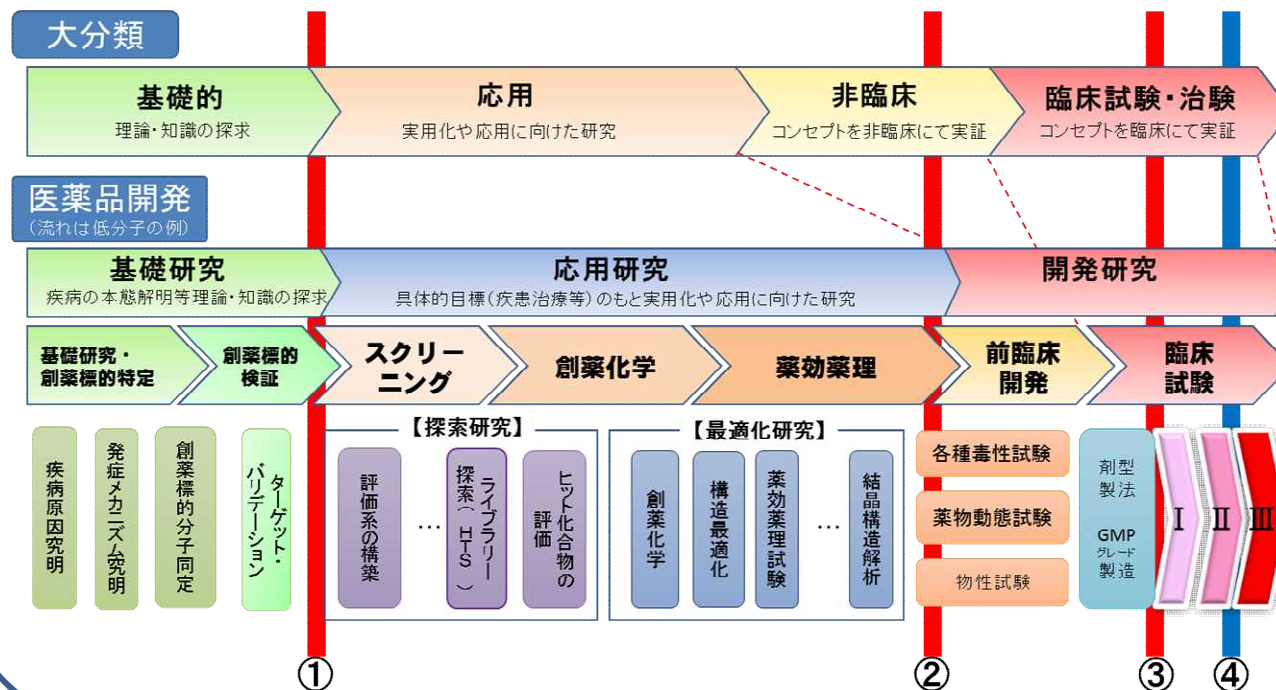
⇒研究開発提案書の別添等の記載を**依頼予定**

→公募要領
IV.2.(4)(d)

①医薬品開発の研究マネジメント

AMEDでは、**医薬品の研究開発プロセスの重要な段階**で、**それまでの進捗状況等を確認しGo/no-go判断を行うため**、「**研究マネジメントに関するチェック項目(医薬品)**」の運用を平成30年度より段階的に開始します。

医薬品開発のステージゲート



ステージゲート

- ① 創薬標的検証終了時点
- ② 前臨床開発開始前時点
- ③ 臨床第Ⅰ相開始前時点
- ④ 探索的試験終了時点



①医薬品開発の研究マネジメント

1. 提案者は、医薬品開発のどのステージにいるか確認
2. 「チェック項目記入表」(①～④のいずれか)を記載し、AMEDに提出

「研究マネジメントに関するチェック項目記入表」ステージゲート①(創薬標的検証終了時点) 概要表

1. ターゲット又はシーズそのものの評価等に関すること	
(1) ターゲットバリデーションが適切に実施されているか。 具体的には、研究対象としているターゲットと、想定する疾患の発症メカニズム等の関連性について、エビデンスを伴い説明可能か。再現性は確認されているか。	チェック項目 ↓
(2) ターゲット・プロダクト・プロファイルに関する検討を開始しているか。 具体的には、想定する対象疾患をある程度想定し、その患者数、既存治療法の有無やその概要等の情報収集・整理がなされているか。また、本研究開発を進めていった際の開発品のモダリティ(剤型等の形態)や医療上の位置付けに関する検討を開始しているか。	
(3) 次ステージで必要となるスクリーニング系又は評価系が構築されているか、若しくは構築の目途はあるか、又は現時点ではスクリーニング系又は評価系の目安がなくても次ステージでの研究が可能とする合理的な理由はあるか。	
2. 研究環境等に関すること	
(1) 知財に関し、知財担当者と導出に向けた適切な知財戦略や具体的な対応方策について検討を開始しているか。	
(2) 次のステージにかかる研究開発実施体制(外部機関の活用を含む)の目途はあるか。	

チェック項目: 満たしている場合は、「○」
 満たしていないが、研究の内容・状況を考えて開発を進める場合には、「△」
 いずれの場合も【詳細・理由欄】を記載

①医薬品開発の研究マネジメント



<提出されたチェック項目の取り扱いと注意点>

- 「チェック項目記入表」の内容は、課題評価委員会での評価対象の一部。
- チェック項目欄に「△」が記載されている場合、チェック項目を満たさなくても開発を進める理由をAMEDで検討し、**適切でないと判断した場合には、採択されないこともあります。**

*詳細および関連資料は、以下のウェブサイトをご参照ください。

https://www.amed.go.jp/koubo/iyakuhin_check.html

②再生医療研究事業（研究開発課題）の マネジメント

**詳細および関連資料は、以下のウェブサイトをご参照ください。

https://www.amed.go.jp/koubo/saisei_check.html

採択後の事業の進め方、注意点について



採択可否の通知は2019年2月下旬を予定

<課題管理>

- 全ての採択課題について、毎年度、委託研究開発成果報告書の提出を求めます。
- 採択課題については、採択後の委託研究開発契約締結の際、研究開発代表者からデータマネジメントプランをAMEDに提出していただきます（詳細は採択後に別途ご連絡）。
 - ✓ データマネジメントプランは「ゲノム医療実現のためのデータシェアリングポリシー」に従って、研究から産出されるデータ及びデータ群の総称、研究開発データの説明、リポジトリ（保存場所）等、必要事項を記載。
 - ✓ ゲノム医療実現のためのデータシェアリングポリシーは、以下のウェブサイトで公表予定
<https://www.amed.go.jp/program/list/01/06/002.html>
- PS、PO 等が進捗管理を綿密に行います。進捗管理に当たっては、報告会の開催や、調査票、ヒアリング、サイトビジット等を通じて出口戦略の実現を図っていきます。ご対応のほど宜しくお願いいたします。なお、進捗状況に応じて、計画の変更や課題の中止等を求めることがあります。



若手研究者の育成・登用

AMEDでは、公的研究費を支出する事業共通の意義として、広く我が国の未来を担う研究者を育成し、また育てられた人材を通じて研究成果を社会へ還元することを推進しています。

- 若手育成枠
- 若手研究者登用

若手育成枠



- 公募研究開発課題【若手育成枠】に**研究開発代表者**として応募してください。
- 平成31年4月1日時点において、年齢が、**男性の場合は満40歳未満**の者(昭和54年4月2日以降に生まれた者)、**女性の場合は満43歳未満**の者(昭和51年4月2日以降に生まれた者)、又は博士号取得後8年未満の者が対象です。ただし、産前・産後休業又は育児休業をとった者は、満40歳未満又は満43歳未満の制限に、その日数を加算することができます。
- 海外研究機関に所属する研究者が書面レビューに加わるため、応募の際に提案書の指定された項目について**英語**による記載をしていただきます「**Project Description (別紙7)**」。
安全保障貿易管理上、外国為替及び外国貿易法に基づく輸出規制対象物品の有無について確認するため、「**安全保障貿易管理に係るチェックシート**」(AMEDホームページ公募情報掲載)を提出してください。

若手研究者登用



- 研究開発代表者/分担者の研究室・教室などに所属し、研究開発を実施していただきます。
- 若手研究者の登用を希望する応募者は、研究開発提案書の該当する項目にその旨を明示し、**履歴書(別添様式1)**及び**若手研究者育成計画書(別添様式2)**を提出してください。
- 平成31年4月1日時点において、博士等の学位を有する者又はこれと同程度の研究能力があると認められる者。ただし、医師(日本の医師免許取得者)については、博士の学位の有無に関わらず医学部卒業後2年以上を経過した者。年齢が、**男性の場合は満40歳未満**の者(昭和54年4月2日以降に生まれた者)、**女性の場合は満43歳未満**の者(昭和51年4月2日以降に生まれた者)、又は博士号取得後8年未満の者。ただし、産前・産後休業又は育児休業をとった者は、満40歳未満又は満43歳未満の制限に、その日数を加算することができます。
- 若手研究者の登用に要する経費は年間**600万円(間接経費を含む)を上**
限として、希望額を計上してください。



新興・再興感染症に対する 革新的医薬品等開発推進 研究事業

○背景

新型インフルエンザ
MERS（中東呼吸器症候群）
SFTS（重症熱性血小板減少症候群）
エボラ出血熱 等
新興感染症

デング熱
結核
動物由来感染症 等
再興感染症

薬剤耐性菌

ウイルス、細菌、
真菌、寄生虫等
その他感染症

感染症の原因となる病原体は刻々と変化を繰り返し
ヒト社会もまた大きく変貌



国内外の様々な病原体に関する疫学的調査及び基盤的研究並びに
予防接種の有効性及び安全性の向上に資する研究を実施し、感染
症対策並びに診断薬、治療薬及びワクチン開発を一体的に推進する

健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画 平成26年策定



○事業の方向性

→公募要領 P1、P37

2019年度は、国内外で対策が必要な感染症について、患者及び病原体に関わる疫学調査、病原体のゲノム及び性状・特性等の解析、病態解明等、総合的な感染症対策の強化を目指した基盤的研究を継続して推進します。得られた知見をもとに新たな診断法・治療法・予防法の開発を目指します。これら感染症研究に携わる若手研究者の育成を実践的な環境下で行い、感染症研究の人的基盤の拡大を図ります。

○事業の目標

→公募要領 P1

本研究事業では、感染症から国民及び世界の人々を守るため、感染症対策の総合的な強化を目指し、国内外の感染症に関する基礎研究及び基盤技術の開発から、診断法・治療法・予防法の開発等の実用化研究まで、感染症対策に資する研究開発を切れ目なく推進します。

得られた成果は遅滞なく公表（学術誌での発表、ガイドラインの作成等）し、成果の実用化を目指します。

2019年度 公募研究開発課題の概要（その1）

公募領域番号	公募課題等	委託研究開発費の規模 (間接経費を含まず)	新規採択課題 予定数
1	一類感染症等の新興・再興感染症に関する研究	上限15,000千円	0～2 課題程度
2	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の対策に資する開発研究	上限33,000千円	0～2 課題程度
3	インフルエンザ等呼吸器感染症に係る開発研究	18,000千円～35,000千円	0～2 課題程度
4	新興・再興エンテロウイルス感染症に関する研究	5,000千円～28,000千円	0～2 課題程度
5	麻しん・風しんの排除・制圧に向けた対策に資する研究	上限20,000千円	0～2 課題程度
6	ムンプスワクチンの開発に関する研究	上限14,000千円	0～2 課題程度
7	HTLV-1感染症に関する開発研究	上限12,000千円	0～2 課題程度
8	結核対策に資する開発研究	10,000千円～25,000千円	1～2課題程度
9	梅毒に関する研究開発	上限6,000千円	0～2 課題程度
10	多剤耐性菌に関する研究	上限10,000千円	1～2 課題程度
11	真菌感染症に関する開発研究	上限12,000千円	0～2 課題程度
12	熱帯病・寄生虫病に関する開発研究	14,000千円～18,000千円	0～2 課題程度

【研究開発実施予定期間】最長3年(2019年度～2021年度)

→公募要領 P5～6



2019年度 公募研究開発課題の概要（その2）

公募領域番号	公募課題等	委託研究開発費の規模 (間接経費を含まず)	新規採択課題 予定数
13	動物由来感染症に関する開発研究	上限21,000千円	0～2課題程度
14	ワクチン対策に資する研究	10,000千円～12,000千円	0～2 課題程度
15	抗毒素製剤に関する開発研究	上限24,000千円	0～2 課題程度
16	培養細胞感染系の確立に関する開発研究	上限15,000千円	0～2 課題程度
17	感染症病原体ゲノム情報に関する研究	上限23,000千円	0～2 課題程度
18	感染症が疑われる原因不明疾患に関する研究	上限12,000千円	0～2 課題程度
19	感染症対策の強化に必要な基盤技術の創出、 診断・治療・予防法の開発研究	5,000千円～10,000千円	1～2 課題程度
		【若手育成枠】 5,000～7,500千円	1～3 課題程度

【研究開発実施予定期間】最長3年(2019年度～2021年度)

→公募要領 P5～6

2019年度 公募研究開発課題

応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p>研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	研究開発目標
O11	<p>一類感染症等の新興・再興感染症の 診断・治療・予防法に資する開発研究 上限15,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>一類感染症等について、感染症対策に資する診 断・治療・予防に関する研究を推進 特に、国内の一類感染症等の発生に備えるため に、より迅速かつ技術移転可能な検査・診断法の 確立、ならびに地方衛生研究所等との連携に必 要な診断技術支援等に資する研究を推進</p>
O21	<p>重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 総合的対策に資する研究 上限33,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>SFTSのウイルス感染動態、病態形成機構解明 などの基盤的研究、SFTSの診断・治療・予防法 の開発等、医学・獣医学の横断的な連携を見据 えたSFTS総合的対策に資する研究を推進</p>
O31	<p>新型インフルエンザ等重症呼吸器感染 症の臨床・病理学的解析に基づく診断・ 治療に係る国際連携研究 上限18,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>新型インフルエンザ等重症呼吸器感染症の脅威 に備え、臨床・病理学的解析に基づく診断・治療 法の開発に資するエジプト、ベトナム等との国際連 携研究を推進</p>

応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p>研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;">研究開発目標</p>
O32	<p>経鼻インフルエンザワクチン導入を見据えた基盤技術の開発 上限35,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>経鼻インフルエンザワクチン導入を見据え、これら課題の克服、及び実用化後に必要となる科学的根拠に基づくワクチン評価方法の確立に資する研究を推進 交叉性の高い経鼻インフルエンザワクチンやその基盤を応用した、亜型によらず幅広い防御能力を示すいわゆる万能インフルエンザワクチンなどの新規ワクチンの開発に資する研究を推進</p>
O41	<p>新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究 上限28,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>ポストポリオを見据えた、公衆衛生上重要な新興・再興エンテロウイルスの総合的対策に資する研究、ポリオ根絶後も引き続き重要となってくるポリオワクチン接種に係る研究等を推進</p>
O42	<p>感染性ポリオウイルスを用いない中和抗体価測定法の開発・評価 上限28,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>従来の中和抗体価測定法に代わる、感染性ウイルスを用いない新たな測定法の開発・標準化及びその評価、国内外への導入に資する研究を推進</p>

→公募要領 P39~40

応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p style="text-align: center;">研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;">研究開発目標</p>
051	<p>麻しん・風しん排除認定をサポートする 実験室検査に関する研究 上限20,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>麻しんの排除状態の維持及び風しんの排除達成に向けた対策の強化に資する研究開発を推進</p>
061	<p>高い有効性かつ安全性を有するムンプス ワクチンの開発及びワクチン効果の向上 に資する研究 上限14,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>既存ムンプスワクチンの改良ならびにその接種スケジュールや接種対象者の変更等の投与（接種）方法の検討により、より高い有効性・安全性を有するムンプスワクチンの開発と実用化及びワクチン効果の向上に資する研究を推進</p>
071	<p>HTLV-1の疫学研究及び総合対策に 資する研究 上限12,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>宿主ゲノム解析及びプロウイルスゲノム解析により、HTLV-1感染及び疾患発症・重症化の関連因子を同定し、疾患発症・重症化の制御法及び疾患リスク予知の確立に資する研究を推進 収集・解析した宿主及びプロウイルスのゲノム情報及び臨床情報については、当機構の事業で構築された公的ゲノムデータベースMGeND（Medical Genomics Japan Variant Database）等に集約</p> <p style="text-align: right;">→公募要領 P40~42</p>

応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p>研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;">研究開発目標</p>
081	<p>結核対策に資する開発研究 10,000～25,000千円/ 1～2課題程度</p>	<p>結核に対する予防・診断・治療法等の開発など 結核対策に資する研究を総合的に推進</p>
091	<p>梅毒の迅速診断法に資する研究開発 上限6,000千円/ 0～2課題程度</p>	<p>性感染症罹患による受診時の検査や献血、妊婦 健診、手術前の検査などの機会に、簡便で迅速 に診断可能な梅毒検査・診断法の開発研究を 推進</p>
101	<p>多剤耐性菌に有効な新規抗菌薬開発 に向けた研究 上限10,000千円/ 1～2課題程度</p>	<p>多剤耐性が世界的に問題視されているグラム陰 性細菌である、腸内細菌科細菌、アシネトバク ター属菌、緑膿菌等、既存の抗菌薬による治療 が困難となってきた病原体に有効な新規抗菌 薬の開発あるいは新たな概念に基づいた治療薬 の開発に資する研究を推進</p>



応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p style="text-align: center;">研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;">研究開発目標</p>
111	<p>深在性真菌感染症の病態解明及び検査・診断・治療法の確立に関する研究 上限12,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>我が国において特に頻度の高い重要な深在性真菌症である、アスペルギルス症、カンジダ症、ムコール症等の検査・診断法の開発研究を推進 新たな抗真菌薬候補物質の有効性・安全性の評価など治療法に資する開発研究や、ヒト及び環境から分離される真菌の薬剤耐性機序の解明を推進</p>
121	<p>わが国における熱帯病・寄生虫病の最適な診断・治療体制の構築に関する研究 上限18,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>輸入熱帯病・寄生虫病（マラリア、リーシュマニア症、肝蛭症、アフリカトリパノソーマ症、アメリカトリパノソーマ症、クリプトスポリジウム症、トキソプラズマ症、アカントアメーバ角膜炎等）に対して治療を支援し、そこで得られた情報をもとに国内診療体制、支援体制を全国的に整備する研究を推進 疫学情報の解析、将来の薬剤耐性事案に備えた研究を推進</p>

応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p style="text-align: center;">研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;">研究開発目標</p>
122	<p>中枢神経症状を引き起こす寄生虫病の病態解明と診断・治療法に関する研究 上限14,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>中枢神経症状を引き起こす寄生虫病（脳マラリア、アメーバ脳症、トキソプラズマ脳症、広東住血線虫症等）の病原性メカニズム及び実態調査を明らかにし、検査法、診断法及び治療法を開発する研究を推進 トキソプラズマ症に関するデータベースの構築を推進</p>
131	<p>動物由来感染症の制御に資する検査・診断・予防法に関する研究 上限21,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>主にコリネバクテリウム・ウルセランス、新菌種のブルセラ属菌、ダニ媒介性脳炎の事前対応の策定に資するよう、ヒトに重篤な症状を引き起こす可能性のある動物由来感染症（SFTSを除く）に対する診断・予防法とサーベイランス強化に資する研究を推進</p>

応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p>研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;">研究開発目標</p>
141	<p>ワクチンの実地使用下における基礎的・臨床的研究及びワクチンの評価・開発に資する研究</p> <p>上限12,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>ワクチンの実地使用下における有効性・安全性を検討し、既存ワクチンの改良や新たに開発すべき病原体ワクチンに向けた提言など予防接種施策の推進に必要な科学的な知見を集積する研究開発を推進</p>
142	<p>種々の感染症に対するワクチンの品質管理法の開発、改良に関する研究</p> <p>上限10,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>種々の新規ワクチンを一定の品質で供給するために、ワクチンの品質管理を行う試験法の開発、試験法の精度管理及び有効性の検証方法確立のための研究を推進</p> <p>インフルエンザワクチンおよび新規ワクチン、現在定期接種に位置づけられているワクチン（特に日本脳炎ワクチン）などの品質管理法の開発、改良のための研究を推進</p>

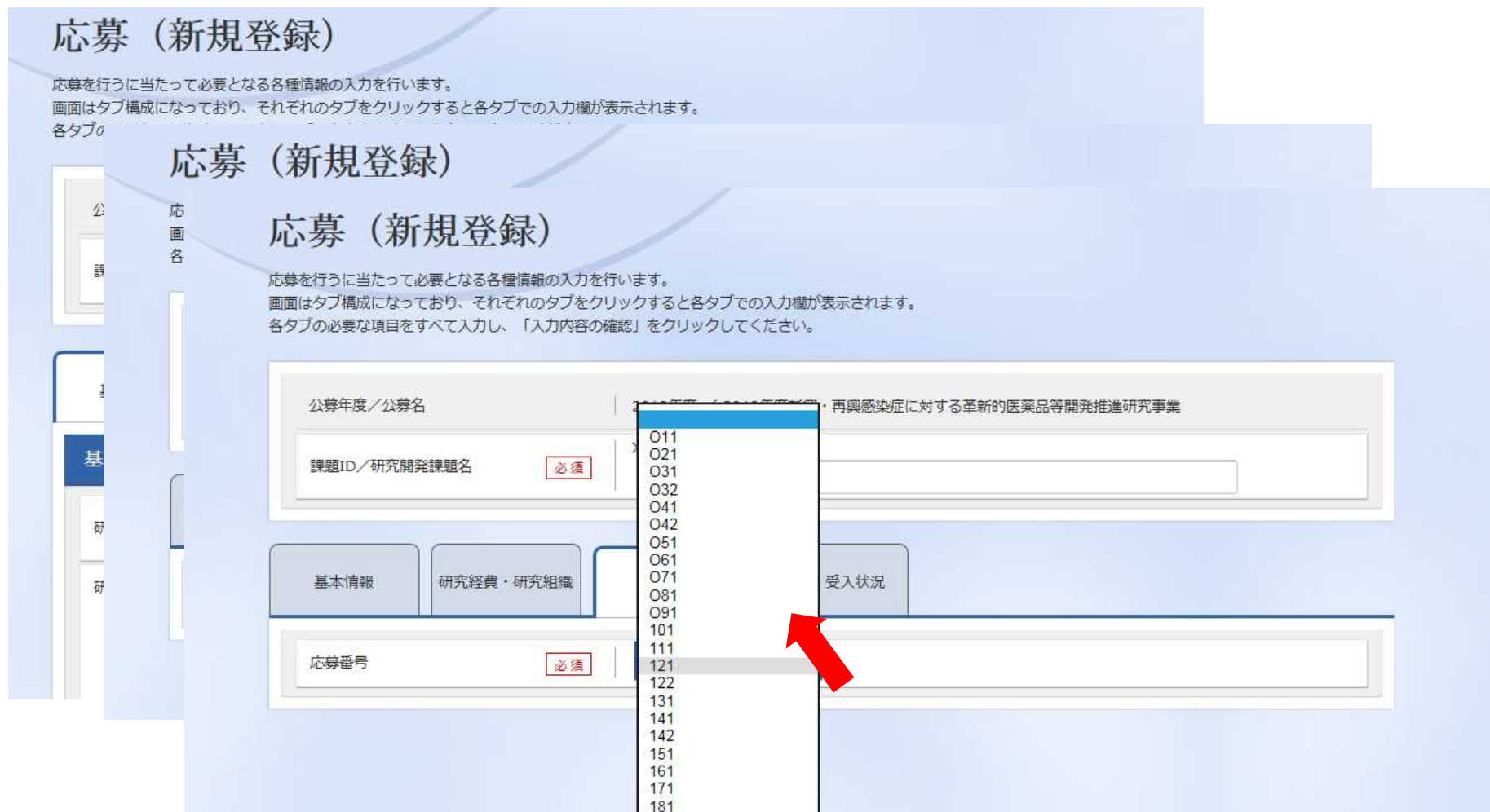
応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p>研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;">研究開発目標</p>
151	<p>抗毒素製剤の高品質化、及び抗毒素製剤を用いた治療体制に資する研究</p> <p>上限24,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>ヒトモノクローナル抗体治療薬など高品質で安定供給可能な抗毒素製剤の開発を推進</p> <p>既存製剤等の供給体制の維持・管理と改良や、抗毒素製剤と他の薬剤との組合せによる治療効果の向上など、国民の健康に直接貢献しうる毒素製剤を用いた治療体制・治療法に資する研究を推進</p>
161	<p>効率の良い培養細胞系が確立されていないウイルスの感染評価系の開発と同評価系を用いた診断・治療・予防法の開発に向けた研究</p> <p>上限15,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>効率の良い培養細胞感染複製評価系や動物モデルが存在しないウイルスに対して、感染を評価できる培養細胞系や動物モデルを開発し、診断・治療・予防法の開発のための基盤的な研究を推進</p>

応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p style="text-align: center;">研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;">研究開発目標</p>
171	<p>病原体ゲノミクスを基盤とした病原体検 索システムの利活用に係る研究 上限23,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>近年構築された病原体ゲノミクスを基盤とした病 原体検索システムについて、ゲノム情報活用に基づいた国内病原体検査体制ネットワークの拡大と、国内外のデータベース共有及びその利活用に係る研究を推進</p>
181	<p>感染症が疑われる原因不明疾患に係る 診断技術等の開発研究 上限12,000千円/ 0~2課題程度</p>	<p>感染症病理診断基盤の強化を推進するとともに、未知及び既知の病原体による感染症に係る病態等に関する知見の蓄積を目指す 感染病理分野で先進的な知見・技術を有する欧米の諸外国との連携・協力を進めるとともに、現に感染症例を有するアジア地域を中心とした国々との協力を進める</p>



応募 番号	<p style="text-align: center;">課題名</p> <p>研究費の規模:1課題あたり年間〇〇円 (間接経費を含まず)/ 採択予定課題数</p>	<p style="text-align: center;">研究開発目標</p>
191	<p>感染症対策の強化に必要な基盤技術の創出、診断・治療・予防法の開発研究 5,000～10,000千円/ 1～2課題程度</p>	<p>現時点で実施する必要性の高い感染症に関連する研究を実施し、総合的な感染症対策の強化に資する基盤技術の創出又は革新的な感染症の診断・治療・予防等に関する方法の開発を推進（ただし、エイズ及び肝炎に関連する開発研究は除く）</p>
192	<p>【若手育成枠】 感染症対策の強化に必要な基盤技術の創出、診断・治療・予防法の開発研究 5,000～7,500千円/ 1～3課題程度</p>	<p>現時点で実施する必要性の高い感染症に関連する研究を実施し、総合的な感染症対策の強化に資する基盤技術の創出又は革新的な感染症の診断・治療・予防等に関する方法の開発を推進（ただし、エイズ及び肝炎に関連する開発研究は除く）</p>

○e-Radでの応募（留意点）



応募（新規登録）

応募を行うに当たって必要となる各種情報の入力を行います。
画面はタブ構成になっており、それぞれのタブをクリックすると各タブでの入力欄が表示されます。
各タブ

応募（新規登録）

応募を行うに当たって必要となる各種情報の入力を行います。
画面はタブ構成になっており、それぞれのタブをクリックすると各タブでの入力欄が表示されます。
各タブの必要な項目をすべて入力し、「入力内容の確認」をクリックしてください。

公募年度／公募名

課題ID／研究開発課題名 必須

基本情報 研究経費・研究組織 受入状況

応募番号 必須

011
021
031
032
041
042
051
061
071
081
091
101
111
121
122
131
141
142
151
161
171
181

• 審査項目と観点

① 事業趣旨等との整合性

- ・事業趣旨、目標等に合致しているか

② 計画の妥当性

③ 技術的意義及び優位性

④ 実施体制

⑤ 事業で定める事項

- ・革新的な感染症の予防、診断及び治療に関する方法の開発を見据えた研究であるか
- ・感染症研究の振興・発展に資する基礎研究であり、今後の基盤技術の発展が期待できるか
- ・感染症対策の強化に役立つ成果が見込まれるか
- ・現時点で実施する必要性・緊急性を要する研究であるか
- ・他の民間研究などにより代替できるものではないか
- ・国が行う感染症対策の推進に資する成果が見込まれるか

⑥ 研究を行うにあたり配慮すべき事項

- ・生命倫理、安全対策に対する法令等を遵守した計画となっているか

・まとめ

本事業では、診断法・治療法・予防法の開発等の実用化研究とともに、感染症対策の強化に資する基礎研究及び基盤技術の開発まで、幅広く支援を行います。公衆衛生の向上・国民の健康に資する研究開発課題提案をお待ちしています。

2018年12月3日（月）正午〆切

➤ご不明点がございました際は、「X. 照会先」の連絡先までお問い合わせください。

→公募要領 P36